



平成23年5月9日

各位

会社名 木徳神糧株式会社
代表者名 代表取締役社長 平山 惇
(コード番号: 2700)
問い合わせ先 常務執行役員 稲垣 英樹
管理本部財務部長
電話番号 03-5636-1501

特別損失の計上による業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年12月期第1四半期において特別損失が発生することとなり、平成23年2月17日に公表した平成23年12月期(平成23年1月1日～平成23年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はございません。既に公表した1株につき年間6円を据え置く予定です。

また、株主優待制度につきましても、今回の業績予想の修正による変更はございません。

記

1. 平成23年12月期通期連結業績予想の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	106,235	1,192	1,056	453	53.42
今回発表予想(B)	106,235	1,192	1,056	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	102,284	1,226	1,087	585	68.99

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	89,265	1,005	926	496	58.49
今回発表予想(B)	89,265	1,005	926	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	85,469	1,020	945	515	60.84

2. 平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,505	634	570	202	23.82
今回発表予想(B)	54,505	634	570	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	52,562	499	439	235	27.81

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,048	571	547	277	32.67
今回発表予想(B)	46,048	571	547	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年12月期)	44,215	431	398	224	26.44

3. 修正理由

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当社従業員2名が死亡したほか、東北支店・仙台工場、桶川工場、本牧工場、子会社である内外食品(株)、(有)茨城内外、(有)共栄ファーム、東洋キトクフーズ(株)の工場及び事務所等の生産・販売の拠点は大きな被害を受けております。これらの被害金額約10億円を特別損失として見積り計上することといたしました。

平成23年12月期の業績予想のうち当期純利益につきましては、足元の業績は堅調に推移しているものの、東日本大震災による業績への影響に関する定量的な作業が進行中であり、現時点では合理的な算出ができない状況であるため未定といたします。今後、予想が可能となった時点において、速やかに業績見通しを開示いたします。なお、その時期は第2四半期業績の発表時を予定しております。

4. 東日本大震災による影響

(1) 人的被害について

当社東北支店・仙台工場の従業員のうち、2名の死亡を確認しております。

(2) 建物・設備等に対する被害について

当社東北支店・仙台工場は、建物及び設備等に壊滅的な被害を受けており、主にその要因により、被害金額は約3.7億円を見込んでおります。

(3) たな卸資産に対する被害について

当社グループ工場や外部の保管場所におけるたな卸資産の被害金額は約2.9億円を見込んでおります。

(4) 復旧に向けた取組みについて

現在、当社グループにおいては、営業面では被害を受けた東北支店の移転による営業活動の再開、生産面では仙台工場の代替生産拠点における生産力の増強、又物流面では物流拠点や配送体制の整備等の対応により復旧を行っております。

5. 資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失の計上

資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い、連結では約0.9億円、個別では約0.6億円を特別損失として計上いたします。但し、この特別損失は平成23年2月17日に公表した平成23年12月期の業績予想に織り込み済みです。

6. 特別損失の内訳

上述の内容を含めて、平成23年12月第1四半期に計上する特別損失の主な内訳は以下の通りです。

内容	計上金額
東日本大震災による建物・設備等の被害	3.7億円
東日本大震災によるたな卸資産の被害	2.9億円
東日本大震災によるその他の被害	3.4億円
資産除去債務に関する会計基準の適用（前回業績予想に織込み済）	0.9億円
合計	10.9億円

(注) 本資料に記載されている業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上